

科目名	障がいの実例に応じた授業プラン－知的障がい編 (S)				B
	サブタイトル				
実務経験のある教員による授業科目					
対象学科	人間科学部 心身健康科学科				
担当教員	川端陽子				
担当教員の 実務経験					
オフィスアワー	非常勤講師のため、UHAS@Myキャンパスでの質問箱で随時配布資料や課題についての質問を受け付けます。				
配当年次	1-4	選択	単位数	スクーリング履修：1単位	
授業形態	講義 演習				
アクティブラーニング	有				
授業方法	面接授業				
資格等 関連科目					
科目コード	B339S				
科目区分	環境・社会と人間				
一般目標 (GIO)					
卒業認定・学位授与 の方針と本科目の 関連					
ディプロマポリシー との関連	大学	<p>人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>1. 全学共通のコア科目を通したリベラル アーツ教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感力、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性</li> <li>■ 社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質</li> </ul> <p>2. 専攻する学部・学科の専門科目を通した医療・健康・食・栄養の専門職教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得</li> <li>■ 社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス（リテラシーレベル）の基礎力</li> </ul>			
	学部	人間科学部	人間科学部では、人間の総合的な理解を基に、人々の健康に関する多様な職業について、自立と共生の精神をもって自身のキャリアを形成できる能力を身につけたものに学位を与える。各学科のディプロマ・ポリシーで具体的に示されている①知識・技能、②汎用的技能、③態度・志向性、④総合的な学修経験と創造的思考力を身につけたものに学位を授与する。		
	学科	心身健康科学科に関連する項目			
カリキュラムポリシー との関連	大学	<p>人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る</li> <li>2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る</li> <li>3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る</li> <li>4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う</li> </ol>			

		5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力（リテラシーレベル）を得る		
	<b>学部</b>	<p>人間科学部</p> <p>人間科学部では、次の方針に基づいて教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る</li> <li>2. 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理解、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る</li> <li>3. 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題関心と関連付けて問題解決を図る能力を得る</li> <li>4. 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う</li> <li>5. 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力（リテラシーレベル）を得る</li> </ol>		
	<b>学科</b>	心身健康科学科に関連する項目		
評価方法・基準	評価基準は人間総合科学大学学則及び学生便覧に記載の基準に準拠する。			
課題に対するフィードバックの方法				
スクーリング履修での講義内容	授業計画			
	時限	学習内容	キーワード（重要語句）	担当教員
	1時限			
	2時限			
	3時限			
	4時限			
	5時限			
	6時限			
	7時限			
8時限				
授業評価アンケートに基づく改善点				
方略				
連絡事項	2025年度前期より開講			